

競艇広報誌【プロペル】 2009

Vol. **2**

# もっと競艇を PROPEL

特集

## 競艇の未来を拓く。

### 6団体の事業紹介



02 特集  
競艇の未来を拓く。

- ・ 一般社団法人  
全国モーターボート競走施行者協議会
- ・ 財団法人 日本モーターボート競走会
- ・ 社団法人 日本モーターボート選手会
- ・ 全国競艇施設所有者協議会
- ・ 全国ボートピア施設所有者協議会
- ・ 競艇振興会

10 HOPE!  
無限の可能性を秘めた  
スター候補

14 競艇を支える  
プロフェッショナル

# 特集 競艇の 未来を拓く。

競艇は、手軽に楽しめるレジャーとして  
多くのお客さまに親しまれる一方、  
公益事業の振興や地方財政の改善、  
周辺地域経済の活性化にも  
大きく寄与しています。  
様々な形で社会に貢献している  
競艇事業の目的を達成するために、  
売上1兆2千億円に向けて、  
競艇関係6団体が連携し、  
事業のさらなる効率化と、  
より一層振興させるため  
様々な施策を実施しています。

私たちが6枚の  
プロペラ  
となってフル回転で  
競艇を活性化します

- 一般社団法人  
全国モーターボート競走施行者協議会
- 財団法人 日本モーターボート競走会
- 社団法人 日本モーターボート選手会
- 全国競艇施設所有者協議会
- 全国ボートピア施設所有者協議会
- 競艇振興会

【プロペラ】  
*PROpel*

競艇広報誌「PROpel」は、  
みんなに楽しんでいただける競艇の実現に向けた  
関係者の姿と、社会の様々な分野での  
貢献の様子を紹介していきます。

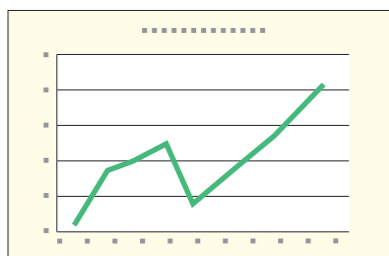
## 一般社団法人 全国モーターボート競走施行者協議会

### 円滑な開催運営を施行者と共に

モーターボート競走の公正かつ円滑な実施を確保することにより、体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に資するとともに、地方財政の改善を図ることを目的に、全国24のモーターボート競走を実施する施行者39団体(県1、市22、組合15、企業団1)を会員とし、会員をはじめ関係団体等と緊密な連絡調整を図り、モーターボート競走の円滑な開催運営に寄与しています。

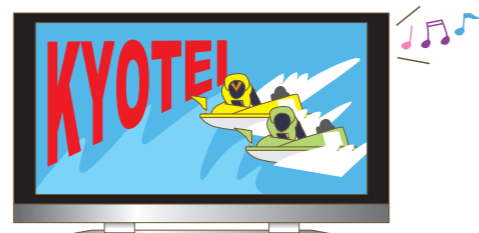
#### ● 施行者収支の改善

経営改善の一環として、開催経費の適正化、私人委託を含めた運営形態の見直し及び財務状況の的確な把握のため、企業会計制度の研究を行うなど、施行者の収支改善に取り組んでいます。



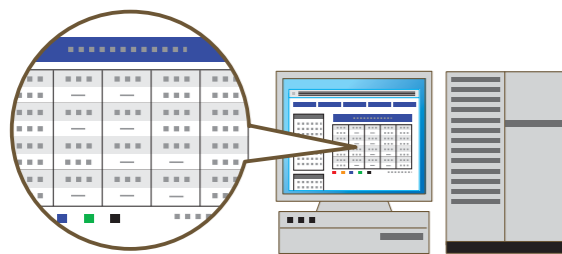
#### ● 来場促進及び売上向上施策の実施

お客さまの視点に立った来場促進及び売上向上施策に取り組むとともに、競艇の啓発や新規顧客の獲得のため、テレビ媒体などを活用した全国的な広報・宣伝等を関係団体と協議しながら推進しています。



#### ● 広域発売の拡充

場間場外発売の拡充及び事務の円滑化を図るための1つとして、場外発売管理システムの管理運用を行うとともに、競艇場、ボートピアの開催日程・場外発売日程を、当会のHP (<http://www.motorboatracing-association.jp/>) を通じてお客さまに発信しています。



#### ● 競艇場等の秩序維持

競艇場及びボートピア等が、安全・安心・健全な発売場であり続けるため、各公営競技と連携し情報交換を行うとともに、警察庁をはじめ各監督官庁の指導のもと場内の秩序維持に努めています。



## 財団法人 日本モーターボート競走会

### 公正かつ安全な競走を実施するために

モーターボートレースを円滑に実施するために、審判や検査など競技全般に関する事務を行うほか、使用するボートやモーター・選手・審判員・検査員の登録、選手のあっせん、選手・審判員・検査員の養成訓練を行っています。また、ボートやモーターの改良、競技に必要な設備の改善や競技の実施方法に関する調査・研究等を通じ、競技レベルの向上を目指しています。

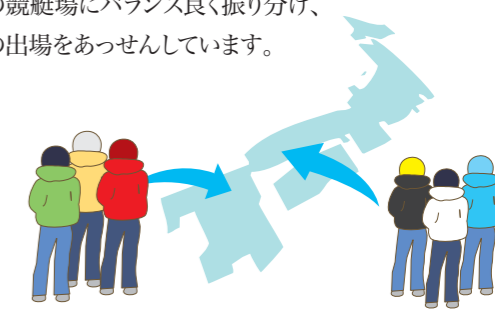
#### ● レースの審判やボート・モーターの検査

レースが公正かつ安全に実施されるように、審判員はレースで発生する様々な事象に対する判定や、最終的な勝舟の決定を行っています。また、検査員は出走するボート・モーターのチェック、出場選手の検査等、レース進行に関わる様々な業務を行っています。



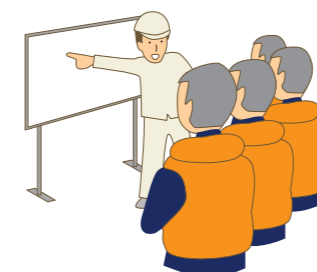
#### ● 選手、ボートの登録や選手のあっせん

選手、ボート・モーター、審判員・検査員の登録を行うとともに、魅力あふれるレースを楽しんでいただくために、競技規程等の制定改廃、事故防止対策などを行っています。また、全選手の成績や特徴などのデータ分析を行い、全国の競艇場にバランス良く振り分け、選手の出場をあっせんしています。



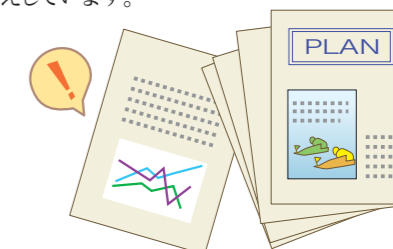
#### ● 選手・審判員・検査員の養成訓練

福岡県柳川市にある「やまと競艇学校」で、選手・審判員・検査員の養成訓練を行っています。1年という短期間で競艇選手等を育成するため、徹底的な管理のもと身体及び精神の向上を日々図っております。また、現役の選手や審判員等に対し定期的に講習会を開催し、業界を担う人格者としての育成に努めています。



#### ● 魅力ある競艇の企画立案および広報

新規のお客さまの開拓、既存のお客さまへの魅力あふれるレースの提供など、市場調査を通し時代のニーズに応じた施策の企画立案、推進を行っています。また、各種マスメディア等に対する啓蒙普及活動を行うとともに、全国のお客さまからの多様な問い合わせやご意見にもお応えしています。



## 社団法人 日本モーターボート選手会

### 選手が全力で戦えるために

競艇の醍醐味は、迫力あるエキサイティングなレースにあります。そのためには選手が安全に競技に臨め、安心して生活できる環境の整備が求められます。日本モーターボート選手会は、全ての事故防止のためのさまざまな対策を講じるとともに、選手の処遇改善を図り、“いつでも、どこでも、おもしろい”競艇をお客さまに提供することを目指しており、また地域の青少年を対象とした海事思想の普及活動にも努めています。

#### ●競技技術の向上と安全対策

公正かつ安全なレースを行うとともに、魅力溢れるレースを提供するため、常設訓練所や競艇場において各種訓練等を実施し、選手の競技技術の向上を図っています。また、全会員に対して人身事故防止の啓発を図り、航法上問題のあるレースが発生した場合の航法指導を行うとともに、負傷防止と軽減化を図るため事故防止対策委員会と技術研究専門委員会を設置し、各種防護具、航走機材等の研究開発を行っています。



#### ●選手共済制度の運営

選手が後顧の憂いなく、安心してレースに臨めるよう、レース中の災害に対する補償をはじめ、退会一時金や年金給付等の共済事業を行っています。



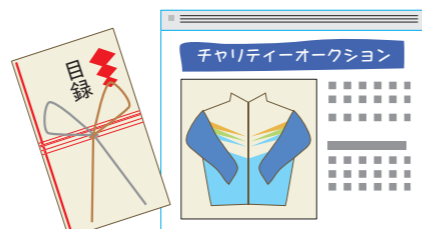
#### ●海事思想の普及宣伝

マリンスポーツの楽しさと海事思想の普及宣伝、海難防止の啓発推進を目的に、児童福祉施設や障害者施設の方々を招待してマリンスポーツフェスタを主催するほか、児童・青少年、地域住民を対象に、訓練水面を開放して、ゴムボート、キッズボート、ペアボート等の体験試乗会を実施しています。



#### ●公益福祉に関する事業

公益性のある慈善活動を行うプロスポーツの団体として、ハンセン病制圧事業への支援協力を行っています。全選手からの寄付をはじめチャリティーオークション、各支部の各種チャリティーイベントからチャリティー基金へ寄付されています。



## 全国競艇施設所有者協議会

### 多くのお客さまが競艇を楽しめる快適な環境を

全国に24場ある競艇場のうち、民間が施設を所有する6つの企業と、レースに使用するボート・モーターを所有する7つの企業によって構成されています。競艇業界の発展に寄与するため、これからの競艇場のあり方などについて協議し、常にお客さまの視点に立った快適な施設づくりを目指しております。そのため、施設の維持管理・安全対策等に努めることはもちろんのこと、場内の緑化や分煙化についても積極的に推進し、明るくクリーンな空間をお客さまにご提供できるよう環境整備に努力し、また、公正かつ安全なレースが運営されるようボート・モーターの性能近似に努めております。

#### ●より快適な観戦環境の整備

競艇場施設の維持管理・安全対策等に努めるとともに、施設のリニューアルや場内の分煙化、グループ席・在席投票席の導入なども積極的に推進し、ご来場されるお客さまに快適な空間と時間を提供します。



#### ●地球環境に配慮した取り組み

屋上緑化庭園の設置や太陽光発電・冷房用ミストの導入など、環境対策・省エネ促進に取り組んでいます。



#### ●ボート・モーターの整備

公正かつ安全なレースが円滑に実施できるよう、1級整備士・2級整備士によるボート・モーターの日常点検や整備を行っています。



## 全国ボートピア施設所有者協議会

### 身近な場所で誰もが競艇を楽しめる環境を

競艇場へ足を運ばなくてもお客さまの身近な所で舟券をお買い求めいただけるのが、ボートピアをはじめとする場外発売場です。全国のボートピア、ミニボートピアを所有する企業で構成され、お客さまの利便性の向上、楽しめる環境など、より良い施設と運営に努めています。

#### ●競艇関係団体との折衝窓口

全国各地に点在するボートピア、ミニボートピアの施設を所有する19の企業が、顧客サービスをはじめ、売上向上に結びつく様々な施策を実施するにあたり、競艇関係団体と折衝するためのパイプ役として窓口業務を行っています。



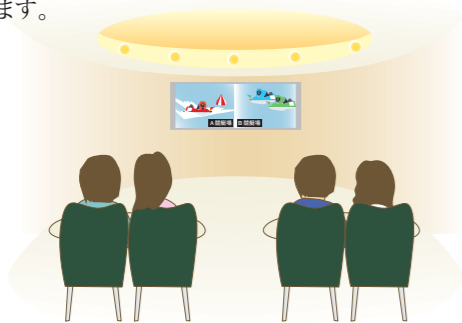
#### ●都市型・郊外型売場の推進

ボートピア・ミニボートピア施設は、駅に近い都市型や大きな駐車場を擁した郊外型を中心に推進し、多くの方に気軽にお楽しみいただける身近なレジャー施設を目指しています。



#### ●落ち着いた推理を楽しむ空間提供

施設内の明るさや清潔感を保ち、有料席ではグループやカップルでも落ち着いた雰囲気の中で勝舟投票の推理を楽しむことができる空間の提供、環境整備に努めています。



#### ●複数場の舟券売場の運営・推進

一つの競艇場の勝舟投票を推理するだけでなく、お客さまが複数の競艇場のレースを同時にお楽しみいただける施設の運営・推進に努めています。



## 競艇振興会

### 競艇を、もっと身近に、もっと楽しんでいただくために

“みんなが楽しむ競艇”を目指して、競艇全体の振興に努めています。競艇場、ボートピア、電話投票など勝舟投票券の集計から、レースのデータなどの情報システムを管理・運営しています。さらなる、競艇の発展に向けた経営戦略の推進、全国的な広報・宣伝の展開、広域発売の推進などの各事業を通じて、お客さまへのサービス向上・拡大に努めています。

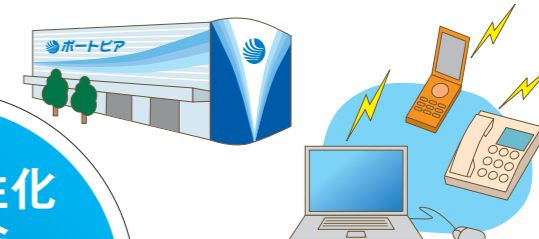
#### ●情報システムの効率化

情報システムの導入・運営・保守コストの低減を目指し、場内・場外・電話・インターネット等の舟券集計や各競艇場の出走表・競走結果を即時に配信する中央情報処理システムの効率化を図っています。



#### ●広域発売体制の一層の強化

お客さまに身近に競艇を楽しんでいただくためにボートピアやオラレ等の設置の推進、インターネットや携帯電話等多様な発売チャネルの提供を通じて広域発売体制の充実を図り、よりお客さまが投票しやすい環境の整備に努めています。



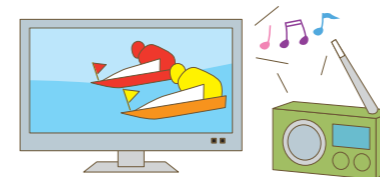
### 競艇活性化委員会

“より魅力ある競艇”の実現に向けた戦略を構築しています。

戦略に基づく  
具体的事業を推進

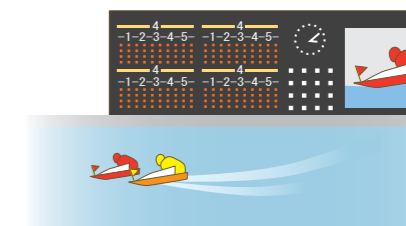
#### ●戦略的・効果的な 広報宣伝の実施

“競艇の魅力”をポジティブに訴求したイメージ戦略に基づく全国的な広報宣伝を実施しています。また、競艇の社会貢献に関する広報やSG等全国発売競走の告知をテレビ・ラジオ・新聞で行っています。



#### ●高度情報化実現に資する リース・貸付

競艇事業の高度情報化に資する施設や設備、機器の普及を推進するため、設備機器のリース、施設設備機器やボートピアの整備に必要な資金の貸付を行っています。



第1回  
**HOPE!**  
無限の可能性を秘めた  
スター候補★

元スター選手の植木通彦氏をコメンテーターに迎え、スター候補選手としての可能性と人間的魅力を紹介します。

# 勝手を意識しながら 平常心で走る

岡崎恭裕選手は、2003年、16歳で競艇学校へ入学、翌年プロデビューして1年にも満たない18歳で初優勝、その後も快進撃を続けています。岡崎選手に植木通彦氏との対談を通じて競艇にかける意気込みと、ファンの皆さまに対する思いを語っていただきました。

## 「礼」と「節」を学んだ競艇学校

**植木** 岡崎選手は、少年時代どのような子供でしたか。  
**岡崎** 団地に住んでいましたので、同じ団地の子供同士で、よく野球をやっていました。負けず嫌いだったので、遊びとはいえ、どのようにやったら勝てるかを子供ながらに真剣に考えていました。

**植木** その後も、野球を続けたのですか。

**岡崎** 中学生になってからは、バレーボール部に入りました。実は、このバレーボール部は市の大会でも優勝するほどの強豪で、顧問の指導も厳しかったです。でも、やるからにはレギュラーを目指し、3年生のときにレギュラーに選ばれました。

**植木** 目標を高く持って、その目標に向かって燃えることができるタイプの方ですね。そのチームでバレーボールをやっていて、プラスになったことは何ですか。

**岡崎** まず、スポーツのすごさを感じ、精神的に成長できたことだと思います。バレーボールはチームプレーが大切なので、自分の役割を理解し、しっかりプレーすることで「チームに迷惑をかけないようにしたい」という思いが強かったです。

**植木** 中学を卒業し、自分で進路を決めて入学した競艇学校では、どのようなことを学びましたか。

**岡崎** 競艇学校での1年は、それまで生きてきた十数年よ



スター候補選手 登録第4296号(福岡)

## 岡崎恭裕選手 × 植木通彦氏

りずっと内容が濃かったと思います。本当に素晴らしい教官、同期に恵まれました。また、技術だけでなく対人関係なども学ぶことができました。自分の成長を助けていただいた1年だったことに“感謝”しています。その中でも一番の宝物は「礼」と「節」を学べたことです。社会人経験もなかったので大変感謝しています。



## 「信は力なり」を座右の銘に 平常心を保つ

**植木** 岡崎選手は、2004年3月2日に選手登録され、5月8日のデビュー戦で4着になりました。通常のデビュー戦はとにかく勢いだけの人が多いのですが、岡崎選手は冷静なレース展開で、デビュー戦という感じじゃなかったですね。

**岡崎** 「新人はもっとアグレッシブに行け」と先輩に言われました。そのときは「ハイ」と答えましたが実際は、頭の中のイメージを持ってレースに臨みました。

**植木** ピットアウト前は、どのようなことを考えていますか。

**岡崎** 競艇学校の教官に教わった、「信は力なり」と唱えながら、1着をとるというイメージを持ってレースに臨んでいます。この言葉は「必勝の信念」という戦陣訓の最初に書かれていたもので、座右の銘にしています。ピットで「信は力なり」という言葉を思い浮かべると集中でき、自信を持っ

## 岡崎選手の生い立ち、 プロになるまで

中学卒業を間近に控えながらも、卒業後の進路を決めきれないでいた。その時、テレビニュースで競艇学校が地元福岡に移転したこと、中学卒業でも応募できることを知った。競艇のことは何も知らなかったが、競艇学校の受験を決意、2回目に合格した。

合格後、父に連れられて初めて福岡競艇に行きGI優勝戦を見学。大観衆の中での迫力あるレースに魅了されるとともに、優勝選手の情れの舞台を目のあたりにし、競艇に対する思いを一層強くする。

競艇学校では同期の仲間と支え合いながら切磋琢磨、2004年3月に選手登録、5月にプロデビューを果たす。



てレースに臨めるのです。

**植木** そうやって平常心を保っているんですね。岡崎選手は冷静に周囲をよく見ることができるので、デビュー戦でも、レースの行方も見えたということでしょう。

初優勝したレースも冷静な判断の結果だと思いましたが、自分ではどうでしたか。

**岡崎** 初優勝のときは、6号艇6コースだったのですが、レース展開に恵まれて勝利したのだと思います。自分の実力で優勝したとは思わなかったし、自分が成長したという実感もありませんでした。

植木さんの初優勝のときはいかがでしたか。

**植木** そうですね、私が初優勝したときに感じたのは、この勝利は“大きな目標の通過点だ”という思いです。自分が「これでいい」と慢心してはいけません。ファンが私のレースを見て「良かった」と言ってくればそれでいい。

ですから岡崎選手のそういう気持ちは大切です。また、岡崎選手の初優勝の映像を見ましたが、レース展開によっ



植木通彦氏

Michihiko Ueki

1968年4月26日生まれ。福岡県北九州市出身。O型。登録第3285号。「艇王」「不死鳥」として知られる。通算成績は4,500走1,562勝。勝率7.58。優勝74回。2007年7月に現役を引退し、現在、財団法人日本モーターボート競走会理事。

て偶然に優勝したのではなく、冷静に状況判断した結果だと思えます。

### 心の支えである仲間は、ライバルでもある

**植木** 岡崎選手にとって仲間とはどんな存在ですか。

**岡崎** 自分にとっては、なくてはならない存在です。いい先輩、同期、後輩がたくさんいて、精神的なことも含めていろいろな面で支えてもらっていると思っています。反面、レースは厳しい世界なのでライバルでもあります。勝つためには努力を惜しみませんが、同じレースだからといって仲間に何か聞かれても答えない、見せないということはしていません。そういう点ではオープンです。

**植木** 私の場合は、自分以外の選手はすべてライバルと感じ、そのために仲間の輪に入ることができない時期がありました。いま思い返すと、自分でそうなるように仕向けてしまったのかもしれない。ただ、私たちの時代にはライバル心をむき出しにすることで、良いレースができたのかもしれない。

**岡崎** 状況によって、ライバル心を出していくことも重要なのですね。自分にとってライバル心は「相手に強く意識させた方が勝ち」となるものだと思います。同じレースに参加する5人は対戦相手として意識をしますが、基本的にはピットに入ってレースが終わるまでがライバル、レースが終われば仲間という感じです。



### 岡崎選手の プロ選手としての活躍

プロデビューして1年にも満たない2005年2月2日、戸田競艇場で開催された「第20回日本モーターボート選手会長杯」で弱冠18歳ながら優勝、大物ルーキーとして一躍注目を集める。

平成19年最優秀新人選手を受賞。2009年8月25日現在、通算で勝率6.18、優出22回、優勝9回。2007年5月の笹川賞に初出場し、これまで4回SG競走に出場。全国スター候補選手に選ばれた後に、宮島競艇場で開催された新鋭リーグで優勝を飾った。



### 感謝の気持ちを忘れず ファンのために走る

**植木** 岡崎選手は全国スター候補選手に選ばれファンも増えたと思いますが、岡崎選手にとって競艇とはひとりで言うとは何でしょう。

**岡崎** ファンが応援してくださるのは、本当にありがたいことですし力にもなります。ただ、競艇はプロスポーツであり、公営競技ですから結果がすべて、最終的には“1着をとること”です。自分を応援してくれるファンの皆さま、舟券を買ってくれるお客さまのために勝ちたいと思います。

ですから、「負けられない」。舟券をボックスで買ってくださいファンもいますので、調子が悪くても最後まで諦めず、“一つでも上位を”という気持ちで走っています。

**植木** それでは自分自身にとって、競艇の魅力はどこにありますか。

**岡崎** 何といっても努力が数字に表れることです。そしていつもまいかないことでしょうか。だからこそ平常心を保つとともに、動きを分析し、分析した結果を実践していくことが大切だと思います。

**植木** そうですね。きちんと段取り・準備ができ、さらに勝てると思う気持ちを強く持つことで結果につながります。

ところで岡崎選手は先日の新鋭リーグで優勝しましたね。

**岡崎** はい。全国スター候補に選ばれた後、初めて新鋭リーグに出ました。プレッシャーから悪い方向へ向かうこともあります。今回はいい方へ働いて優勝できました。おかげさまで、初優勝のときは違って、自分自身が成長できたと感じました。

**植木** すでに大きな一歩を踏み出しているようですね。ぜひ選手たちの先頭に立って、これからの競艇をリードし、盛り上げてくれることを期待しています。



### 岡崎選手との対談を終えて…… 植木通彦

岡崎選手は22歳という若さで、競艇の選手としての役割をしっかり自覚し、ファンの皆さまのために一生懸命走り“感謝の気持ち”を持たれていました。

スター候補選手ということで、プレッシャーもいままで以上にあると思いますが、平常心を失わずにいままでおりの走りを見せてほしいと思います。競艇の未来を担う一人としてとても頼もしく思いました。



岡崎恭裕選手

Yasuhiro Okazaki

1987年1月10日生まれ。福岡県福岡市出身。福岡支部所属。身長172cm、体重52kg、血液型O型。登録期：94期。登録第4296号、A1級。

※この対談の様子は「スカパー！レジャーチャンネル」380chのSPECIAL対談『艇王学』でもご覧いただけます。詳しくはスカパーの番組表をご覧ください。

# 第1回 競艇を支えるプロフェッショナル

このコーナーでは競艇を様々な分野で支えているプロフェッショナルにご登場いただき、その仕事の内容や役割についてご紹介します。



お話を伺った黒田泰志さん。開会式の会場で、イベントの進行やお客さまの状況を常に確認しています。

## 多彩な広報宣伝活動を通して 競艇の魅力をアピール、ファン拡大を図る

若松競艇に見る 広報宣伝活動

競艇の広報宣伝活動は、大きく分けて全国的に展開するものと競艇場ごとに行うものがあります。今回は、「海の日」記念 SG第14回「オーシャンカップ」(ナイターレース)を開催した若松競艇場を訪ね、企画宣伝係の方に施行者の広報宣伝活動についてお話を伺うとともに、直前の媒体訪問から大会初日まで取材しました。

### 大会にマッチした地道な広報宣伝活動でファンの心をつかむ

お話を伺ったのは、北九州市産業経済局事業部競艇事務所企画宣伝係の黒田泰志さん。

「半世紀以上におよぶ歴史ある若松競艇場の広報宣伝担当は3名。メディアに向けた広報、イベントの企画・運営など幅広い業務をそれぞれが役割分担し、お互いをフォローしながら活動を行っています」。

地元の新聞を対象としたプレスリリースの配信や競艇場のホームページの制作・更新など日常的な広報宣伝活動をはじめ、地元選手が大勢出場するゴールデンウィークやお盆に開催されるレースでは、新聞折り込みチラシなどにより地域住民に競艇の魅力を積極的にアピールしています。

一方、全国競艇ファン注目のSGやGIレース前には、地元のみならず全国紙媒体へ直接訪問してマスメディアへの露出を高めるほか、ポートピアや場外発売を実施する競艇場に出向いてキャンペーンを行うなど、大会のPRに注力しています。

### 多彩な広報宣伝活動、イベントで盛り上げる「海の日」記念 SG第14回「オーシャンカップ」

競艇界の最高峰に位置付けられるSG(スペシャルグレード)競走は、約1年前に開催が決定するとまず、目標とコンセプトづくりから始まります。これらが決まると、ポスターやイベントの企画・制作、媒体訪問、キャンペーン、テレビCMなどの活動を実施するため仕事量は通常の何倍にもなります。

今回の「オーシャンカップ」では、本場の売上高は6日間で8億4,000万円という目標とともに、基本コンセプトは「環境」に決定しました。その理由は北九州市が環境指定都市でもあるからです。この目標とコンセプトに従って具体的な広報宣伝計画を立案しました。海の妖精「クリオネ」をテーマに「海の女神もココロ、踊る。」というキャッチコピーが決まり、駅や空港などにポスターを掲示するとともに、電車の中吊り、ホームページなどもイメージを統一、オーシャンカップを印象付けました。また、事前に約3週間をかけて関東、東海、関西、九州のマスコミ約30社を訪問したり、競艇場やポートピアでのキャンペーン

## 本番ではこんな仕事を

準備万端整った開会式前日の夜に行われた通しのリハーサルでも、チームプレーで慎重にチェック



前日の夜

当日お昼

当日午後1時

当日午後2時

子供たちに人気の「仮面ライダーディケイド」ショーは悪天候のため、急遽屋根の下に場所を変更。臨機応変な対応はお手のもの



開門。たくさんのお客さまにホッとすると同時に、直前の媒体訪問から大会初日まで取材しました。



開会式へ向かう選手を誘導するのも広報担当の仕事



### 若松競艇場

洞海湾に面した若松競艇場は、1952年、当時の若松市(現北九州市)によって開設された。競艇の最高峰SGレースの全日本選手権競走の第1回大会が開催されたことから、競艇ダービー発祥の地として知られている。2004年に「バイナッフルナイター」と銘打ったナイター開催を開始、2008年3月からは通年ナイター開催にして仕事帰りの方やファミリー、カップルのお客さまが増えた。マスコットキャラクターは「かっぱくん」。

- 所在地：福岡県北九州市若松区赤岩町13-1
- 交通：JR筑豊線「奥洞海駅」から徒歩4分 開催日には小倉駅北口、戸畑駅、黒崎バスセンターなどから無料バスを運行
- ホームページ：http://www.wmb.jp/



を展開しました。

また、レースの開催が学校の夏休みに重なることから、ファミリーを意識した日替わりイベントや「クリオネ観賞コーナー&環境パネル」、「ソーラーカー模型工作教室」など、子供が楽しみながら学習できるイベントも実施しました。この他にも実施した様々なファンサービスイベントやレース開催のコンセプトにマッチした広報宣伝が功を奏し、子供連れやカップルでの来場者も多く、将来の競艇ファンづくりとしても成果を挙げました。

### 少人数で苦労も多いが お客さまのひと言で疲れも吹き飛ばす

「オーシャンカップのような大きな大会は、広報宣伝担当としての意思統一が大切です。忙しくてなかなか



写真左/大会前には企画宣伝係の古郷浩一さん(中央左)と森田保行さん(中央右)が、東京の新聞社などを訪問

写真右/多摩川競艇ではバイナッフルキャンデーとチラシをお客さまに手渡しして2,000個配布、「今度行くから」などと声をかけられることも

人が集まれません、携帯電話などで積極的にコミュニケーションを取り合い、意思統一を図っています」と黒田さん。多岐にわたる広報宣伝活動ですが、来場の促進を目指してユニークな取り組みも行いました。それは関東や関西のお客さまを若松競艇場へ招待する観戦ツアーです。このツアーには総勢150名が来場し、「『また来たい』とおっしゃる参加者も多かったため、こうした企画を今後も検討していきたいと思います」。このツアーは黒田さんにとって最も印象深い広報活動だそうです。

様々な事前活動から大会中の記者会見の立会い、イベントの運営と席を温める暇もない企画宣伝係の皆さんですが、表彰式でお客さまから優勝選手へかけられる「おめでとう」というひと言で、お客さまと気持ちが一つになり、それまでの苦労も一気に吹き飛ばしてしまうそうです。





**日本財団**  
The Nippon Foundation

● 日本財団に関する情報はこちらから

➔ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

● 日本財団会長 笹川陽平ブログ

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分之一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

➔ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>



## 浜名湖競艇場

昭和28年8月7日、浜名湖競艇場は旧舞阪町弁天島に開設されました。昭和43年に浜名湖南岸の現在の地に移転、JR東海道新幹線からも間近に望める風光明媚な競艇場として親しまれています。浜名湖は遠州灘と通じる汽水湖でウナギが有名。近年はリゾート地としてボートやヨットなどのマリンスポーツが盛んです。周辺には弁天島温泉、館山寺温泉などの観光スポットも豊富です。

ADDRESS ● 静岡県浜名郡新居町中之郷3727-7

ACCESS ● JR東海道本線新居町駅(浜松駅から普通列車で約17分、豊橋駅から約19分)・競艇場口から徒歩。笠井・浜松駅、三方原、天竜方面からバスの便もある。また、JR岡崎駅・名鉄東岡崎駅からバスの便もある(蒲郡競艇場 非開催日のみ運行)。



## 競艇振興会

KYOTEI PROMOTION ASSOCIATION

〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館 TEL.03-5232-2511 FAX.03-5232-2519

競艇振興会HP ➔ <http://www.kyotei-pr.jp/>

競艇オフィシャルWEB ➔ <http://www.kyotei.or.jp/>